



おごおりワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルスや鳥インフルエンザをはじめとする「人獣共通感染症」は、人の感染症の約60%を占めると言われています。人獣共通感染症は、生物多様性の損失や気候変動等の地球環境の変化が強く関係しているとされており、人と野生動物の生存領域が変化し近接してきたことから、動物の感染症に対する抵抗力を持たない人間に伝播するようになったとされています。

こうした様々な分野にまたがる問題に対して、「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づく総合的な取組が求められます。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針や行動計画を策定しました。

本市においても、人獣共通感染症対策、生物多様性の保全、ごみ減量対策、食育、地産地消など様々な分野でワンヘルスにつながる取組を進めてきました。

今後は、福岡県と連携しながらワンヘルス実践を着実に進め、未来への責任を果たすべく、「次世代につなぐ人と動物の健康及び健全な環境が調和した社会」を目指し、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

- 一. 福岡県ワンヘルス推進行動計画に基づき、福岡県の取組に連携・協力し、ワンヘルス実践施策を推進します
- 一. 市民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し必要な支援を行います



令和5年6月1日

小郡市長 加地 良光